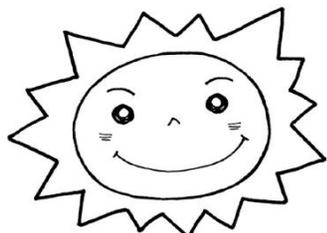


7月はいぜん表 (A)

佐世保市学校給食センター

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<p>2</p> <p>フレンチサラダ 白身魚のマヨネーズ焼き</p> <p>コッパン ラビオリのスープ</p> <p>ラビオリとは、小麦粉を練って薄く伸ばした生地の中に、ひき肉とみじん切りにした野菜を入れて包んだパスタのことです。</p>	<p>オレンジ</p> <p>3</p> <p>春雨サラダ</p> <p>ごはん 麻婆豆腐</p> <p>豆腐は中国で生まれ、今から2000年以上も前から作られていました。大豆から作られているので、消化が良く、たんぱく質が豊富な食べ物です。</p>	<p>4</p> <p>もやしのソテー 魚の甘辛煮</p> <p>ごはん 冬瓜のみそ汁</p> <p>夏に収穫されるのに「冬瓜」という名前がついたのは、冬まで保存できたことからだといわれています。また皮にふく白い粉を雪に見立てたとする説もあります。</p>	<p>5</p> <p>トマト 肉シュウマイ 2こづつ</p> <p>卵パン ビーフン汁</p> <p>トマトの赤色はリコピンという色素です。リコピンは老化を予防したり、病気を予防したりする働きがあります。</p>	<p>6</p> <p>おひたし 星のコロッケ</p> <p>麦入りゆかりごはん 魚そうめん汁</p> <p>7月7日は七夕です。日本では短冊をお願いを書き、笹竹に飾ったり、天の川に見立てたそうめんを食べる風習があります。今日はお魚でできたそうめんです。</p>
<p>ミニゼリー</p> <p>9</p> <p>青じそ スパゲティ</p> <p>米粉パン パンプキンポタージュ</p> <p>青じそはよく刺身と一緒に添えられているのを見かけますね。青じそには殺菌作用があるので、その力を利用して刺身を腐りにくくしているんですよ。</p>	<p>10</p> <p>なすのそぼろ炒め ししゃもフライ 2こづつ</p> <p>ごはん もずくのかきたま汁</p> <p>もずくは海藻の仲間です。日本では沖縄県でたくさんとれます。他の海藻に付着することから「藻付く」という名前がついたといわれています。</p>	<p>冷凍洋梨</p> <p>11</p> <p>ごまじゃこ サラダ</p> <p>ごはん 五目豆</p> <p>しらす干しはいわしの稚魚をさつと塩ゆでにして干したものです。小魚は骨ごと頭から丸ごと食べるので、たんぱく質やカルシウムがたくさんとれます。</p>	<p>12</p> <p>ジャーマンポテト オムレツ</p> <p>コッパン レンズ豆のスープ</p> <p>レンズ豆は凸レンズに似た形をしています。扁平な形をしているので「ひらまめ」とも呼ばれます。短時間で火が通るのが特徴で、カレーやスープにして食べます。</p>	<p>13</p> <p>もやしときゅうりのナムル 白身魚フライ</p> <p>キムチチャーハン 中華スープ</p> <p>キムチは韓国の代表的な漬物です。白菜などの野菜と、とうがらし、塩、魚介類、にんにくなどを一緒に漬け込んだもので、韓国の食事には欠かせない食べ物です。</p>
<p>16</p> <p>海の日</p>	<p>17</p> <p>甘酢和え 魚のパーベキューソース</p> <p>ごはん けんちん汁</p> <p>昔、建長寺というお寺で、魚や肉を食べられないお坊さんたちが栄養をとるため、豆腐やいも、野菜をたっぷりいれてお汁を作ったのがけんちん汁のはじまりです。</p>	<p>冷凍みかん</p> <p>18</p> <p>ゴーヤ チャンプルー</p> <p>ごはん 親子丼</p> <p>ゴーヤは沖縄でたくさん作られている夏野菜の代表です。熱を加えても壊れにくいビタミンCが多く含まれています。</p>	<p>いちご ジャム</p> <p>鶏肉にソースをかけて食べましょう。</p> <p>鶏肉とソースは別配です</p> <p>食パン</p> <p>19</p> <p>鶏肉の イタリアンソース 2こづつ</p> <p>とうもろこしのスープ</p> <p>とうもろこしは、ゆでてそのまま食べる他にも、油をしぼってとうもろこし油にしたり、でんぷんはコーンスターチとして利用されたりしています。</p>	<p>20</p> <p>カラフルサラダ</p> <p>麦ごはん 夏野菜カレー</p> <p>今日の給食はカレーにかぼちゃとなす、またカラフルサラダに枝豆ときゅうりが入っていて、夏野菜たっぷりの献立になっています。</p>



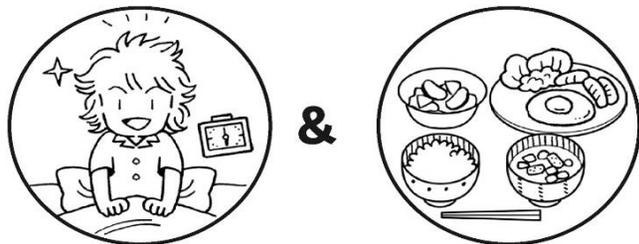
夏の食生活を見直して 元気にすごしましょう！



暑い夏、食欲がなくなったり、食生活が不規則になったりしがちです。毎日元気にすごすためのポイントを探ってみましょう。

元気ポイント1

まずは早起き & 朝ごはん



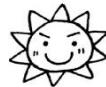
元気にすごすためには、早起きをして朝ごはんを食べることが大切です。また、生活リズムをととのえるためにも毎日続けることが重要。まずはこの2つをしっかり守るようにしましょう。



朝食坊 & 朝ごはんめきでは...
1日のスタートが遅いと、生活リズムがくずれるので気をつけましょう。



元気に一日をスタート！



元気ポイント2

上手に水分補給をしよう！

汗を多くかく夏場は上手な水分補給が必要です。冷房がきいた室内では水や麦茶で十分でしょう。一方、外遊びや運動の時には、事前や途中でこまめに水分補給することが大切です。また、汗をたくさんかく時はミネラルを補給するために、スポーツドリンクを薄めて飲むなどの工夫も必要です。



元気ポイント3

間食は時間と量を決めて！

間食を食べ続けていると、三度の食事が食べられなくなったり、夏ばての原因になったりしてしまいます。間食は時間と量を決め、食べ終わったら歯みがきをして、だらだら食べ続けないようにしましょう。